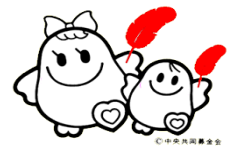




大槌町社協たより

心つなぐべし おおつち



ボランティア活動者数 延べ 80,932 人、ボランティア活動件数 延べ 8,700 件 (12/21 現在)

3.11 実行委員会からのお知らせ

大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会（ボラ連）では、毎年3月11日に東日本大震災追悼イベント『3.11集い～灯火～』を実施しており、今年度も実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。開催にあわせて、鮭形のメッセージカードにみなさんの想いを書き込む『メッセージ作成会』を開催します。

みなさんからのメッセージは、3月11日のイベント会場内に展示します。ぜひ、ご参加ください。

❖メッセージ作成会の開催❖

日時 令和3年1月24日（日）

午前10時～午後1時

会場 おしゃっち1階

エントランスホール



お問合せ先：大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会

事務局 大槌町社協ボランティアセンター ☎0193-41-1555

レクリエーション・キャップハンディ体験サポーター講習の実施報告

12月19日（土）におしゃっち多目的ホールにて、「レクリエーション・キャップハンディ体験サポーター講習」を開催しました。当日は雪がちらつく中、高校生はじめ町内会長や地域で活動している団体などから14名が参加し、うち9名がサポーターの登録を行いました。

キャップハンディ体験では、車いすの使用や介助方法について学び、障がいに対する理解を深めました。初めて車いすに触れる方も多く、参加者から質問や意見が多く挙がりました。レクリエーション体験では、軽運動から社協で貸出しを行っているレク用品を使ったゲームなどを行いました。参加者からは、「体を動かしても楽しみながら学ぶことができた」「高校生もお茶っこの会や地域行事に参加したら、もっと盛り上がるかも」などの声がありました。

イベント等開催することが難しい状況が続いていますが、今回サポーターの登録を行った方々と一緒に、地区お茶っこの会ははじめ様々な地域活動のお手伝いを行っていきます。



コロナ感染対策を取り入れた
会場の設営方法



レクリエーション体験



キャップハンディ体験



大槌学園 防災学習

10月、大槌学園9年生と地域住民を対象に、役場危機管理室と共同で避難所運営の指導を行いました。災害が発生し、大槌学園が避難所として開設されたという想定で、運営方法を考え避難者をどのように誘導するか、生徒と地域住民と一緒に考えながら取り組みました。今年は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じた運営方法を行い、安心・安全な避難所生活を過ごす工夫を確認しました。

参加した生徒からは「避難所運営の難しさを知ることができた」、「もし、避難所で生活することになったら、できることを手伝いたい」との感想が聞かれました。地域住民からは、「滅多に学校に来ることがないため、良い機会となった」、「万が一に備えるため、このような取り組みはこれからも継続してほしい」との感想が聞かれました。

災害へ備えて、防災は日常からの心がけが大切です。防災研修のご要望があれば地区や企業・団体単位で開催することができます。ボランティアセンターまでお気軽にご相談ください。



10月16日 避難所運営ゲーム「HUG」



10月28日 大槌学園 防災訓練

皆さまのあたたかい善意に 感謝します



～【令和2年7月豪雨災害義援金】のご報告～

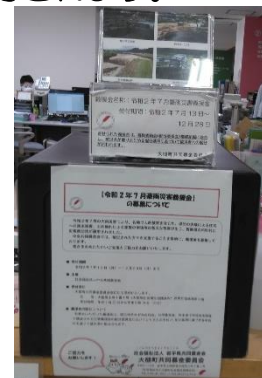
大槌町の皆さまからお預かりした災害義援金は、中央募金会でとりまとめ、関係団体が設置する「災害義援金募集委員会」に全額集約し、公正・適正に被災対象地域に配分されます。

◆受付期間：令和2年7月13日～12月28日

◆チラシ及び募金箱の設置場所

役場保健福祉課、マスト総合窓口、小川旅館、さんずろや、三陸花ホテル
みずかみ大槌店、ファミリーショップやはた、セブンイレブン御社地店
一頁堂(マスト店)、上町ふれあいセンター、地域共生ホームねまれや
大槌町文化交流センターおしゃっち、大槌町社会福祉協議会

令和2年7月豪雨災害義援金 222,916 円



【お問合せ先】大槌町共同募金委員会（大槌町社会福祉協議会内）

TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512

お問合せ先：大槌町社協ボランティアセンター
0193-41-1555

この広報紙は、岩手県共同募金会から配分を受けて作成しています。